

パワーリフト車

取扱説明書

別冊 注文装備品編

よくお読みになってご使用ください。
取扱説明書は車の中に大切に保管してください。

適用車種	トヨタ タウンエース
適用型式	S4

はじめに

このたびはパワーリフト車の注文装備品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書はパワーリフト車を安全・快適にお使いいただくため、パワーリフト車に関して正しい取り扱いを説明してあります。

また、注文装備品はお客様の御注文により異なりますので、お客様のパワーリフト車に該当する装備品のところをお読みください。

- 車両の一般的な取り扱いについては、標準車の「取扱書」（別冊）をご覧ください。
- 販売店で取り付けられた装備の取り扱いについては添付されている取扱書をご覧ください。

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」とその回避方法を下記の表示で記載しています。これらは安全のために特に重要ですので、必ず読んで遵守してください。



警告

記載事項をお守りいただかないと、生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあること

お車のために必ず守っていただきたいことや知っておくと便利なこと、してはならない行為を示すイラストは、下記の表示で記載しています。



アドバイス

お車の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと
お車が故障したときにしていただきたいこと



知識

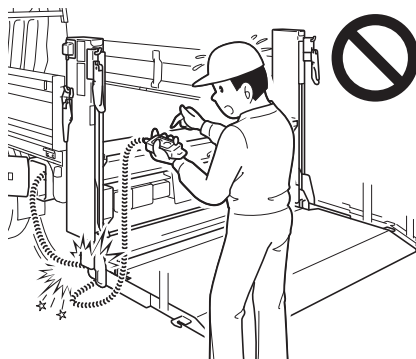
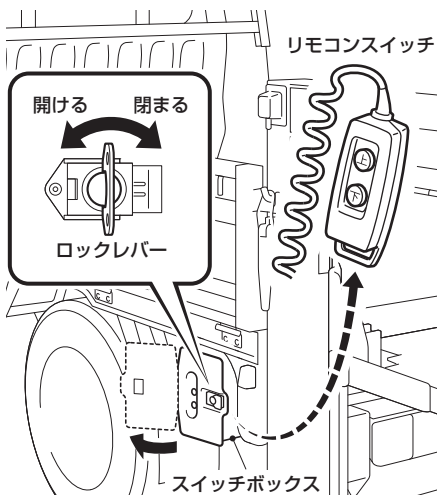
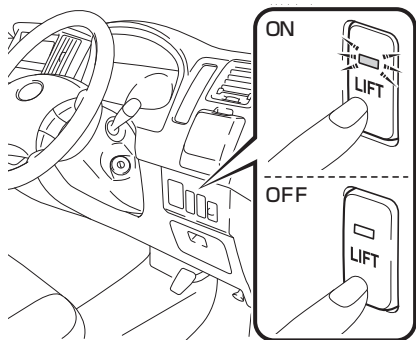
知っておくと便利なこと
知っておいていただきたいこと



してはならない行為

- ・ お車をゆずられるときは次のオーナーのために本書をお車につけておいてください。
- ・ ご不明な点は担当営業スタッフにおたずねください。

プラットフォーム操作スイッチ



リモコンスイッチ

■昇降のしかた

- ①車を水平な場所に止め、必ずパーキングブレーキをかけ、タイヤに輪止めをします。
●エンジンはかけたままにしておきます。
- ②メインスイッチを「ON」にし、プラットフォームを開けます。
- ③車両左側後方にあるスイッチボックスのロックレバーをまわしてロックを解除してカバーを開けます。
- ④リモコンスイッチをスイッチボックスから取り出します。
- ⑤リモコンスイッチの「下」スイッチを押しているあいだプラットフォームは下降し、「上」スイッチを押しているあいだプラットフォームは上昇します。
●スイッチの操作方向を間違えないように注意してください。
●スイッチから指を離すと、プラットフォームはその位置で停止します。
●プラットフォームがいっぱいまで下降および上昇したらスイッチから指を離してください。



アドバイス

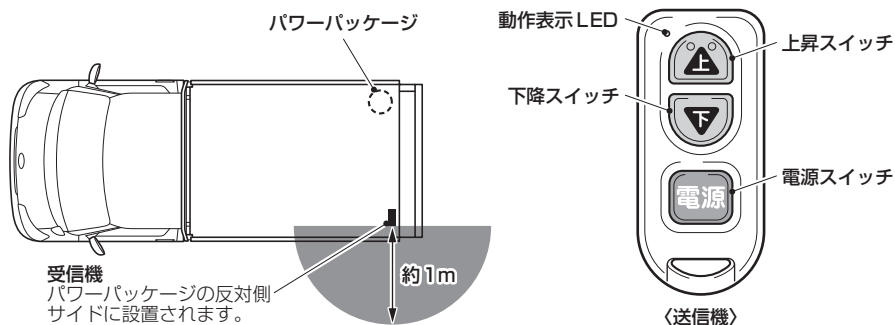
コラムポストの下側に操作スイッチハーネスを挟まないように注意してください。ハーネス断線およびヒューズ切れを起こすおそれがあります。

知識

- スイッチの裏面は磁石になっているので、車のボデーの任意の位置に固定することができます。
- 操作スイッチはスイッチボックス内に収納された状態でも操作することができます。

ラジコンスイッチ

受信機より半径約 1m の範囲で、プラットフォームの昇降操作ができます。



■昇降のしかた

- ①車を水平な場所に止め、必ずパーキングブレーキをかけ、タイヤに輪止めをします。
 - エンジンはかけたままにしておきます。
- ②メインスイッチを「ON」にし、プラットフォームを開けます。(1 ページ参照)
- ③送信機を取り出し、電源スイッチを押します。
 - 動作表示 LED が赤色点灯します。
- ④動作表示 LED が赤色点灯中 (6 秒以内) に下降スイッチまたは上昇スイッチを押し続けます。
 - プラットフォームは下降スイッチを押しているあいだ下降し、上昇スイッチを押しているあいだ上昇します。
 - 下降スイッチまたは上昇スイッチを押しているあいだ、動作表示 LED が緑色点滅します。
 - スイッチの操作方向を間違えないように注意してください。
 - スイッチから指を離すと、プラットフォームはその位置で停止します。
 - プラットフォームがいっぱいまで下降および上昇したらスイッチから指を離してください。

⚠警告

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。



アドバイス

- 断続的に下降スイッチまたは上昇スイッチを押さないでください。故障の原因になりますので、スイッチは押し続けてください。
- スイッチの切りかえ操作をするときは、約 1 秒以上たってから行ってください。瞬時に切りかえを行うと、リフト装置が故障するおそれがあります。
- ラジコンスイッチは電子部品のため、次のことを必ずお守りください。
 - ・ダッシュボードの上など、直射日光のあたる場所および高温になるところに置かないでください。
 - ・スイッチに無理な力を与えないでください。
 - ・スイッチは鋭利なもので操作しないでください。孔・切り傷などが発生しますと防滴機能が損なわれます。
 - ・分解しないでください。
 - ・落としたり、強い衝撃を与えないでください。
 - ・防滴構造ですが、できるだけ水にぬらさないでください。水たまりなど、水中に落下させると故障します。
 - ・送信機の清掃にシンナー、ガソリン、ベンジンなどの溶剤を使用しないでください。表面が変形するおそれがあります。清掃するときは水またはぬるま湯を布などに含ませ、固くしぼってからふいてください。



知識

- 電源スイッチを押してから 6 秒以内に下降スイッチまたは上昇スイッチを押さないと、自動的に電源が切れます。(動作表示 LED 消灯)
 - ・下降スイッチまたは上昇スイッチを押すと、電源はスイッチから指を離れた時点より 6 秒延長します。
- 複数のスイッチを同時に押すと、プラットホームは作動しません。
- ラジコンは周囲の状況により作動可能距離が変わることがあります。
- 周囲の電波状態により、下降スイッチまたは上昇スイッチを押してもプラットホームが一時的に停止する場合や、作動しなくなることがあります。そのときは次のことを行ってください。
 - ・立つ位置をかえて操作してください。その際、スイッチは押し直してください。押し続けたまま立つ位置をかえてもプラットホームは作動しません。
 - ・プラットホーム操作スイッチで操作してください。
- 送信機は電波法の認証に適合しています。必ず次のことをお守りください。
 - ・電池交換時以外は、不用意に分解しないでください。分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。
 - ・必ず日本国内でご使用ください。
- 送信機または受信機のどちらかのみを交換したときは、ID コードを登録する必要があります。登録は販売店にお申し付けください。

知識

- ラジコン操作をしてもプラットホームが作動しない場合や、著しく作動可能距離が短くなった場合、または動作表示 LED が点灯しなくなったり、点滅しなくなった場合は、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。電池はお客様自身で交換できません。
- 航空機に送信機を持ち込む場合は、航空機内で送信機のスイッチを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

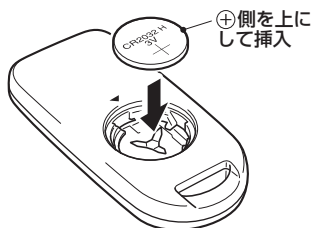
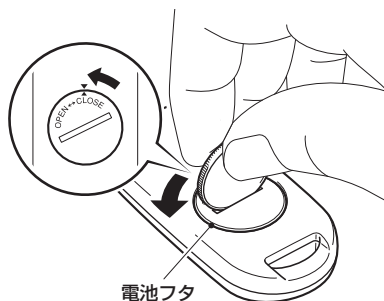
■送信機の電池交換

送信機のスイッチを押しても動作表示 LED が点灯または点滅しなかったり、作動距離が著しく短くなった場合は、電池切れが考えられます。

次の要領で電池を交換してください。

- 電池は販売店、時計店、カメラ店などでお求めください。

使用電池..... リチウム電池 CR2032

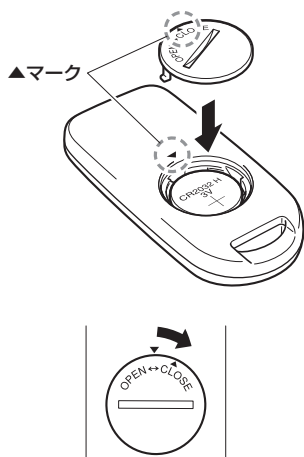


- ① コインなどを電池フタの溝に挿し込みます。

- ② ▲マークが合う位置まで「OPEN」側にまわし、電池フタをはずします。

- ③ 電池を交換します。

- 電池を取り出し、新しい電池の⊕側を上（電池フタ側）にして挿入します。



- ④ 電池フタと送信機の▲マークを合わせてはめます。
- ⑤ コインなどを電池フタの溝に挿し込みます。
- ⑥ 「CLOSE」側にまわし、電池フタを締め込みます。
- ⑦ 作動確認をします。
 - 電源スイッチを押し、動作表示LED赤色点灯中（6秒以内）に下降スイッチまたは上昇スイッチを押して、動作表示LEDが緑色点滅することを確認します。

⚠ 警告

取りはずした部品や電池をお子さまにさわらせないでください。部品が小さいため、誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

👉 アドバイス

- 電池交換時には、取りはずした部品を紛失しないようにご注意ください。
- 電池フタを曲げたりしないように注意してください。
- 電池以外の部品にふれたり、動かしたりしないでください。
- 電池の⊕極と⊖極は必ず正しい向きにして挿入してください。
- 電池挿入部の電極を曲げたり、ゴミや油などが付着しないように注意してください。

パワーリフト車

適用車種	トヨタ タウンエース
適用型式	S4



車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。

〈注文装備品のお問い合わせは下記へお願いいたします〉

特装福祉事業部

TEL (0566) 36-2497 FAX (0566) 36-2498